



(公財)九州経済調査協会 事業開発部長

岡野 秀之

OKANO Hideyuki

1973年横浜市生まれ、北九州市戸畑区育ち。九州大学大学院比較社会文化研究科修了。1997年財団法人九州経済調査協会入社。調査研究部研究主査、主任研究員、総務企画部次長、調査研究部次長、調査研究部長などを経て現職。専門は、地域経済論、産業配置論、地域産業政策論。2014年～2016年版九州経済白書の総論を担当。自主研究事業ならびにクラウドのデータ基盤であるDATASALADやおでかけウォッチャーの事業責任者を務める。

(一社)福岡中小企業経営者協会常務理事

古賀 正博

KOGA Masahiro

1991年九州松下電器入社、人事部配属。以来約20年にわたりPanasonicグループで人事関連業務に従事。2010年福岡中小企業経営者協会に入職。地場中小企業及び地域の活性化に向けた支援活動に従事。その他九州大学や福岡大学等で非常勤講師も務めるなど人、組織、教育に関して産学官のハブ的な立ち位置で活動を続ける。

嘉穂無線ホールディングス株式会社
代表取締役社長

柳瀬 隆志

YANASE Takashi

1976年生まれ。東京大学経済学部卒業後、2000年三井物産入社。2008年家業である嘉穂無線ホールディングス株式会社入社。営業本部長・副社長を経て2016年6月、嘉穂無線ホールディングス株式会社、及び株式会社グッデイ代表取締役社長就任。2017年4月、クラウド活用やデータ分析事業の株式会社カホエンタープライズ代表取締役社長就任。2022年2月「なぜ九州のホームセンターが国内有数のDX企業になれたか」を出版 2022年6月、第1回日本DX大賞「規模法人部門」にて大賞を受賞する等、DXに関する幅広い取組も行っている。





福岡地域戦略推進協議会 事務局長

石丸 修平

ISHIMARU Shuhei

経済産業省、プライスウォーターハウスクーパース（PwC）等を経て、2015年4月より福岡地域戦略推進協議会（FDC）事務局長。九州大学科学技術イノベーション政策教育研究センター（CSTIPS）客員教授、Future Center Alliance Japan（FCAJ）理事、九州経済連合会行財政委員会企画部会長等を歴任。中央省庁や地方自治体の委員など公職も多数務める。2021年10月、世界経済フォーラムと国際官民連携ネットワークによるAgile 50として、「破壊的変革を導く世界で最も影響力のある50人」に選出される。

株式会社山口油屋福太郎
代表取締役社長

田中 洋之

TANAKA Hiroyuki

旅行業界、外資系リゾート会社を経て、業務用食材卸売・辛子明太子及び関連商材の製造・販売の山口油屋福太郎へ入社。廃校を工場へ転換活用し、地元の素材を使用したお菓子の製造を行うなど、地域創生にも取り組んでいます。

株式会社Fusic 取締役副社長

浜崎 陽一郎

HAMASAKI Yoichiro

1976年大阪府生まれ。九州大学大学院在学中にIT会社「Fusic」を起業。機械学習やクラウド技術等をわかりやすく、身近にすべく日々活動している。最近は衛星データを環境分野や農業分野に活かせないか模索中。RKB毎日放送「サンデーウォッチ」、KBC朝日放送「アサデス。ラジオ」レギュラーコメンテーター。





株式会社筑水キャニコム代表取締役社長

包行 良光

KANEYUKI Yoshimitsu

1980年福岡県うきは市生まれ。帝京大学法学部卒。
2012年BBT大学院卒業、MBA取得。2004年筑水キャニコムに入社し単身渡米。CANYCOM USA社長となりアメリカ市場を開拓。2009年取締役、2015年から現職。「ものづくりは演歌だ」をテーマに世界52か国に向け、農業・林業・土木建設用の運搬車・草刈作業車を展開。業界初の四輪駆動乗用草刈機「まさお」は内閣総理大臣表彰ものづくり日本大賞にて優秀賞受賞。日刊工業新聞社「ネーミング大賞」16年連続受賞。

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
人事統括部 人財開発センター センター長

酒口 昇

SAKAGUCHI Noboru

平成4年福岡銀行入行
営業店、本部（営業統括・企画）、シンガポール駐在員事務所長等を経て、令和元年より現職
FFGグループ銀行（福岡、十八親和、熊本）の社員の人財育成企画、運営に従事
休日の過ごし方は、テニス、ゴルフ、宅トレ、待ち歩き、料理など。
妻と大学生の娘

株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 法人金融グループ 主任調査役

居石 知之

SUEISHI Tomoyuki

平成18年福岡銀行入行
営業店、本部（融資部）を経て、平成30年より現職
事業性・信用商品・サービスの推進企画・営業人財育成企画、運営に従事
休日の過ごし方は、野球、スポーツ観戦など。
妻と1男、1女





KCJ GROUP株式会社
事業開発本部シニア・エキスパート

エリオット コンティ

Elliot Conti

1990年に米国・オハイオ州で生まれ育ち、2012年に来日。大阪市立大学大学院 社会学研究科で修士号を取得後、名古屋で一般財団法人グローバル愛知の設立に参画し、2017年～2020年まで同法人の事務局長を務める。2020年から、キッザニア福岡の立ち上げプロジェクトマネジャーとしてKCJ GROUP株式会社に入社し、現在同社のシニア・エキスパートを務める。名古屋大学経済学部非常勤講師も歴任。





ジャーナリスト/千葉商科大学教授

磯山 友幸

ISOYAMA Tomoyuki

硬派経済ジャーナリスト。1962年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。日本経済新聞社で証券部記者、チューリヒ支局長、フランクフルト支局長、日経ビジネス副編集長・編集委員などを務め2011年3月末で退社・独立。著書に『国際会計基準戦争・完結編』『ブランド王国スイスの秘密』など。早稲田大学政治経済学術院非常勤講師、上智大学非常勤講師、静岡県“ふじのくに”づくりリーディングアドバイザーなども務める。

未来を創る財団 理事長
社会生産性研究会 プロジェクトリーダー

石坂 芳男

ISHIZAKA Yoshio

一橋大学法学部卒業後、1964年、トヨタ自動車販売株式会社に入社。以降、一貫してアジア、オーストラリア、欧州、米国などの販売とマーケティングを担当し、13年間の海外駐在経験がある。1996年、米国トヨタ社長に就任し、停滞期にあった同社を再成長路線に乗せる。2001年に、トヨタ自動車副社長（海外部門統括担当）に就任。TWSM（The Toyota Way in Sales and Marketing；販売とマーケティングのトヨタウェイ）の取りまとめにあたった。

未来を創る財団 事務局長

麻植 茂

OE Shigeru

2001年、会計ファーム代表を退任。以後、社会活動に専念 次世代に明るい日本を創るため、「地域おこし」「外国人財」「女性活躍」「教育改革」の4つの観点でプロジェクトを推進。その成果を統合、諸国に遅れている日本の生産性向上の指針の作成に取り組む。

